

南魚沼市監査委員告示第4号

監 査 結 果 の 公 表

地方自治法（昭和22年法律第67号）第199条第7項の規定に基づく監査を実施したので、同条第9項の規定により監査の結果に関する報告を別紙のとおり公表する。

平成28年11月25日

南魚沼市監査委員 河 野 和 男

南魚沼市監査委員 桑 原 圭 美

南魚監第75号
平成28年11月25日

南魚沼市長 井口一郎 様
南魚沼市議会議長 黒滝松男 様

南魚沼市監査委員 河野和男
南魚沼市監査委員 桑原圭美

財政援助団体等の監査の結果に関する報告について（提出）

地方自治法第199条第7項の規定に基づき、財政援助団体等に対する監査を実施したので、同条第9項の規定により監査の結果を報告する。

記

1 監査の対象

平成27年度において、南魚沼市が補助金を交付した団体（財政援助団体）及び公の施設の管理を行わせている団体（指定管理者）。

2 監査の実施期間及び実施団体

平成28年9月28日から平成28年10月28日まで

実施日	実施団体
平成28年9月28日	南魚沼土地改良区 大和郷土地改良区
10月4日	株式会社 魚沼中央トランスポート 塩沢織物工業協同組合
10月6日	有限会社 まちだプランニング 五十沢キャンプ場管理組合
10月28日	職業訓練法人 南魚沼職業能力開発運営協会 塩沢商工会

3 監査を実施した監査委員

南魚沼市監査委員 河野和男
南魚沼市監査委員 桑原圭美

4 監査の方法

監査の実施にあたっては、現地に赴き、各団体から提出された資料及び提示のあった関係帳簿・関係書類を調査するとともに、以下の点を中心に関係職員からの説明を聴取するなどの方法で実施した。また、指定管理者が管理する施設（以下「指定管理施設」という。）については、当該施設の現地調査を実施した。

- (1) 交付された補助金が交付目的どおりの効果を発揮しているか
- (2) 指定管理制度が有効に機能しているか

5 監査の結果

交付された補助金等に係る出納その他の事務は、概ね適正に処理され、その目的どおり

の効果があるものと認められた。

指定管理施設の管理・運営についても概ね適正に行われているものと認められた。

なお、監査の際に見受けられた軽微な事項については、口頭で改善又は検討を要望し不足資料については提出を求めた。

各団体に係る監査の結果は、以下のとおりである。

○南魚沼土地改良区

1 補助金等の交付状況（平成 27 年度）

(1) 南魚沼市産業振興事業 農道整備事業等償還補助金	50,150,652 円
(2) 南魚沼市農業用施設維持修繕事業補助金	2,113,000 円
(3) 市道仁田山本線ほか消雪パイプ電気料負担金	1,310,732 円

2 団体概要

名 称：南魚沼土地改良区

区 域：塩沢、石打、中之島、上田、六日町、大巻及び蕨神（一部）

概 要：平成 21 年 2 月に塩沢東部土地改良区、塩沢町土地改良区及び南魚沼中央土地改良区が合併により設立

地区面積：4,068.5ha（平成 28 年 3 月 31 日現在）

組合員数：4,723 人（平成 28 年 3 月 31 日現在）

会 計 数：一般会計及び特別会計合わせて 26 会計

3 監査の結果

(1) 平成 27 年度事業実績

1) 農道整備事業等償還補助金

・借入件数	94 件
・償 還 額	元金 47,332,165 円
	利子 2,818,487 円

計	50,150,652 円
----------	---------------------

2) 農業用施設維持修繕事業補助金

・補助対象工事合計 26 件

農道修繕工事（8 件） 用水路改良工事（13 件） 排水土砂上げ等（5 件）

（単位：円）

総事業費	うち市補助金	うち事業者負担金
11,834,426	2,113,000	9,721,426

(2) 補助事業の概要

農道整備事業等償還補助金は、過去に実施した農道整備事業等に際し、事業費の一部に充てるため土地改良区が金融機関から借入れた借入金の償還金について補助金を交付するもの。

農業用施設維持修繕事業補助金は、農業施設が有する多面的機能、すなわち市民の生活環境の維持としてもかけがえのない施設であることに鑑み、予算の範囲内で維持

修繕事業に補助金を交付するもの。実際の運用は、「南魚沼市農業用施設維持修繕事業補助金交付要綱」（平成 23 年告示第 45 号）によりなされている。

(3) 監査委員の所感

農道整備事業等償還補助金については、借換え可能なものは借換えを行い、利子負担の軽減に努めていた。

土地改良区が行っている農道、用排水路等の維持修繕は、市民が良好な生活を営むうえで不可欠なものである。耕作放棄地の対策や施設の老朽化等で、今後も施設維持管理費は増加していくことと思われる。農業用施設維持修繕事業補助金については今年度で補助事業が終了となるが、引き続き計画的な施設の維持修繕と長寿命化を望むものである。

○大和郷土地改良区

1 補助金の交付状況（平成 27 年度）

- (1) 南魚沼市産業振興事業 農道整備事業等償還補助金 13,225,500 円
- (2) 南魚沼市農業用施設維持修繕事業補助金 1,128,000 円

2 団体概要

名 称：大和郷土地改良区

区 域：大和地区及び魚沼市の一部

概 要：昭和 40 年 4 月 15 日 浦佐・大崎・東・蕨神土地改良区合併により大和土地改良区設立

昭和 54 年 3 月 30 日 大和土地改良区と八色原土地改良区合併により大和郷土地改良区設立

地区面積 田：1,796.2ha 畑：303ha 道路・水路：229.4ha その他：13.7ha
（平成 28 年 3 月 31 日現在）

組合員数 2,224 人（内魚沼市 109 人、平成 28 年 3 月 31 日現在）

3 監査の結果

(1) 平成 27 年度事業実績

1) 農道整備事業等償還補助金

- ・借入件数 13 件
- ・償 還 額 元金 12,767,575 円
利子 457,925 円

計	13,225,500 円
----------	---------------------

2) 農業用施設維持修繕事業補助金

(単位：円)

総事業費	うち市補助金	うち事業者負担金
2,636,520	1,128,000	1,508,520

(2) 補助事業の概要

農道整備事業等償還補助金は、過去に実施した農道整備事業等に際し、事業費の一部に充てるため土地改良区が金融機関から借入れた借入金の償還金について補助金を交付するもの。

農業用施設維持修繕事業補助金は、農業施設が有する多面的機能、すなわち市民の生活環境の維持としてもかけがえのない施設であることに鑑み、予算の範囲内で維持修繕事業に補助金を交付するもの。実際の運用は、「南魚沼市農業用施設維持修繕事業補助金交付要綱」（平成 23 年告示第 45 号）によりなされている。

(3) 監査委員の所感

農道整備事業等償還補助金については、借換え可能なものは借換えを行い、利子負担の軽減に努めていた。

土地改良区が行っている農道、用排水路等の維持修繕は、市民が良好な生活を営むうえで不可欠なものである。浦佐地内の基幹病院、大型店進出による用排水路等への影響対策や施設の老朽化等により、今後も施設維持管理費は増加していくことと思われる。農業用施設維持修繕事業補助金は今年度で補助事業が終了となるが、引き続き計画的な施設の維持修繕と長寿命化を望むものである。

○株式会社 魚沼中央トランスポート

1 補助金の交付状況

(1) 後期市民バス運行補助金（平成 27 年度）	13,335,000 円
(2) 前期市民バス運行補助金（平成 28 年度）	9,586,000 円
合 計	22,921,000 円

2 会社概要

名 称：株式会社 魚沼中央トランスポート

所 在 地：南魚沼市君沢 42 番地 15

設 立：平成元年 11 月 10 日

資 本 金：30,000,000 円

従業員数：78 名

業 務：バス・タクシー・貨物トラック事業、産業廃棄物運搬収集事業、旅行事業

3 監査の結果

(1) 平成 27 年度決算の概要

* 後期確定額（H27.4.1～H27.9.30）

収 益 ①	運送収益	613,889 円	石打・竹俣、中之島・吉里コース
経 費 ②	運送費	13,948,977 円	
運送損益	①-②	△13,335,088 円	
補助金の額		13,335,000 円	千円未満切捨

運行実績

石打・竹俣コース 中之島・吉里コース	総キロ程 (k m)	1日当たり 運行回数	運行日数 (日)	輸送人員 (人)
	32,987	8	246	3,315

*前期確定額 (H27.10.1～H28.3.31)

収 益①	運送収益	481,296 円	石打・竹俣、中之島・吉里コース
経 費②	運送費	10,067,622 円	
運送損益	①-②	△9,586,326 円	
補助金の額		9,586,000 円	千円未満切捨

運行実績

石打・竹俣コース 中之島・吉里コース	総キロ程 (k m)	1日当たり 運行回数	運行日数 (日)	輸送人員 (人)
	29,863	8	240	2,599

(2) 補助事業の概要

地域住民の福祉を確保するために市民バスを運行する交通事業者に対し、不採算路線の運行に係る経費について補助金を交付するものである。運用は、「南魚沼市市民バス運行補助金交付要綱」(平成27年3月31日告示第64号)によりなされている。

(3) 監査委員の所感

高齢化が進んでいる中山間地域の南魚沼市において、公共交通空白地域の交通手段としての市民バスは、生活交通確保のうえで必要不可欠である。運行については、2系統で運行し、公共機関、福祉施設、医療機関への運行が配慮されていた。

経費が多額にかかることについて、運行目的、安全確保、低収益からすれば仕方がないこととも思われるが、できる限り経費削減に努めていただきたい。

諸帳簿については、他の経理と明確に区分した帳簿管理などの検討が必要と感じた。

今後もお客様のニーズに対処しながら、地域住民の交通手段確保に貢献することを望むものである。

○塩沢織物工業協同組合

1 補助金等の交付状況 (平成27年度)

- | | |
|--------------------|-------------|
| (1) 伝統的地場産業振興事業補助金 | 4,800,000 円 |
| (2) 下水道接続工事費負担金 | 1,570,000 円 |
| (3) 公共下水道接続促進事業補助金 | 400,000 円 |

2 団体の概要 (平成28年4月1日現在)

組 合 名 : 塩沢織物工業協同組合

組 合 員 数 : 9名 (織布業9社)

出 資 金 : 450万円

設立年月日：昭和 24 年 3 月 9 日

事業内容：伝統的工芸品産業の振興に関する事業、商標登録管理事業、検査・伝統マーク貼付事業、技術の改善向上に関する事業、生産・出荷統計調査事業、産地の宣伝・PRに関する事業 他

3 監査の結果

(1) 平成 27 年度決算額

(単位：千円)

収 入		支 出	
市補助金	4,800	情報提供事業	60
組合負担金	3,582	全国伝産展及び各種催事参加事業	426
		地域関連共催事業	680
		産地功労者表彰事業	20
		産地商標ブランド確立事業	207
		地域教育事業	78
		関連団体振興事業	658
		伝統工芸士会運営事業	105
		越後上布技術保存事業	100
		商品開発特別事業	1,500
		三産地共同展示会	487
		共同検査事業	4,061
合 計	8,382	合 計	8,382

下水道接続工事費負担金・補助金

(単位：千円)

	総事業費	市補助金・負担金
下水道接続工事負担金 (2/3)	2,355	1,570
公共下水道接続促進事業補助金	2,355	400

(2) 監査委員の所感

越後上布は、昭和 30 年 5 月 12 日に国の重要無形文化財の指定を受け、さらに平成 21 年 9 月 30 日には、ユネスコの無形文化遺産に登録された南魚沼市が世界に誇る伝統文化である。近年、着物離れ、生産・出荷の減少、組合員の減少等々問題が山積みであるが、今後も組合として技術の継承、情報発信、政策提言等に意を用いていただきたい。

○有限会社まちだプランニング

- 1 指定管理委託料 3,039,775 円 (灯油経費負担分、下水道使用料)
- 2 指定管理施設の概要

名 称：一般公衆浴場 環境衛生センター可燃ごみ処理施設付属施設「金城の里」
 所 在 地：南魚沼市島新田 764 番地

設 置 時 期：平成 16 年 12 月 10 日（公衆浴場法第 2 条許可）

施設の概要：構造 木造平屋建て亜鉛メッキ鋼板葺

敷地面積 5,952 m²

建築面積 535.45 m²

指 定 期 間：平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで（継続）

（当初 平成 21 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで）

指定管理委託料：①燃料費 ②下水道使用料 の合計である。

3 指定管理者の概要

名 称：有限会社 まちだプランニング

住 所：南魚沼市島新田 374 番地

設 立：平成 17 年 11 月 18 日

資 本 金：300 万円

事業内容：土木工事、道路・河川維持管理作業、事務委託、その他

4 監査の結果

(1) 事業内容

1) 平成 27 年度決算額

(単位：千円)

収 入		支 出	
利 用 料	17,616	人 件 費	12,202
販 売 収 入	222	水 道 ・ 電 気 料	2,410
雑 収 入	438	修 繕 費	505
収 入 合 計	18,276	そ の 他	1,437
消 費 税	1,354		
税 抜 き 収 入 合 計	16,922	合 計	16,554

2) 入込数の推移

(単位：人)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
入 浴 者 数	55,815	66,183	62,490	62,942	65,667	65,287

3) 市負担額の推移

(単位：千円)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
市 負 担 額	3,656	5,946	5,722	3,714	3,981	3,040

資料：各年度一般会計決算書

(2) 監査委員の所感

当該施設は、地域還元の一環として開設されたものであり、温泉掘削以来 10 年以上経過している。近年湯量が減少傾向であり心配であるが、湯入れ時間を早めてオープンに間に合うように対処している。現在は、市外からの入浴客（登山者、合宿者等）が増えてきているが、あくまでも地元優先で団体の予約は受け入れを調整している。

今後、可燃ごみ処理施設の広域化等による影響など、施設の存立に関わる問題について将来を見据え、誤りのない検討を望むものである。

○五十沢キャンプ場施設

1 指定管理者の概要

名 称：五十沢キャンプ場管理組合
 所 在 地：南魚沼市永松 941 番地
 組 合 員：永松、原、蛭窪地区住民と、キャンプ場及び周辺の土地所有者等
 事業概要：五十沢キャンプ場の管理運営
 森林公園天竺の里の管理運営
 南魚沼市林業体験実習館の管理運営
 その他

2 指定管理施設の概要

名 称：五十沢キャンプ場施設
 所 在 地：南魚沼市永松 941 番地
 指定期間：平成 21 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで
 指定管理委託料：無償
 (ただし大規模改修又は修繕が生じた場合は負担割合を協議して定める。)

3 監査の結果

(1) 事業内容

1) 平成 27 年度決算額 (円)

売上高①	16,549,722	
売上原価②	1,307,076	
売上総利益③	15,242,646	①-②
販売費及び一般管理費合計④	14,000,404	
営業利益⑤	1,242,242	③-④
営業外収益⑥	1,317,299	
経常利益	2,559,541	⑤+⑥

2) 入込客数の推移

	キャンプ場 (人)	前年度比較	天竺の里 (人)	前年度比較
平成 27 年度	13,701	102%	1,239	70%
平成 26 年度	13,495	110%	1,718	154%
平成 25 年度 (4/27~11/末)	12,210	69% (H22 年度比較)	1,112	63% (H22 年度比較)

※H23 年度は水害

※H23 年度は水害

(2) 監査委員の所感

平成元年に組合を設立し当初より独立採算性で運営を行っている。
 今年度は鷹巣フリーキャンプサイトの一部開放もあり、利用客数、売上高も大幅に増

となり、新潟・福島豪雨災害前の年度実績を上回った。

当初より県内外から幅広い年齢層が継続して利用しているのは、管理者が長年利用客のニーズに合わせて行っている管理運営の賜物である。

災害の全面復旧や平成 29 年度からの法人への移行と課題は多いが、利用客の大切な時間が満たされるような管理運営を心がけ、今後も引続き地域観光の振興と発展のため経営努力を望むものである。

○職業訓練法人 南魚沼職業能力開発運営協会

1 指定管理委託料及び補助金の交付状況

- (1) 指定管理委託料 208,000 円 (警備保障費分)
- (2) 南魚沼職業能力開発運営協会人件費補助金 9,627,000 円

2 指定管理施設の概要

名 称：南魚沼市職業訓練共同施設 (魚沼サンティックスクール)

所 在 地：南魚沼市西泉田 48 番地 1

施設の概要：構 造 鉄筋コンクリート造

本校舎 2 階建て 797.89 m²

実習室 平屋建て 95.88 m²

教 室 O A 教室 2 室 普通教室 4 室 実習室 1 室

指定期間：平成 24 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日 (5 年間)

3 指定管理者の概要

名 称：職業訓練法人 南魚沼職業能力開発運営協会

設 立：昭和 35 年 10 月 20 日 南魚沼郡共同訓練運営協議会結成

(南魚沼郡共同職業訓練所を設立)

昭和 42 年 7 月 22 日 社団法人 南魚沼郡職業訓練運営協議会に改称

昭和 45 年 5 月 25 日 職業訓練法人 南魚沼郡職業訓練協会に改称

平成 5 年 8 月 30 日 職業訓練法人 南魚沼職業能力開発運営協会に改称

会 員：団体会員 (17 団体)

単独事業所会員 (45 事業所)

役 員：理 事 (20 名) 監 事 (2 名) 代議員 (34 名)

(会員・役員については平成 28.9.2 現在)

職 員：事 務 局 長 (1 名)

一般事務職員 (2 名)

法人の目的：・職業人として有能な労働者の育成と、労働者の社会的、経済的地位の向上・安定を図るため、職業訓練法人を構成する会員事務所に所属する労働者に対して職業訓練を実施する。

(認定職業訓練等)

・求職者に対して職業訓練を実施する。

(公共委託訓練、求職者支援訓練等)

4 監査結果

(1) 事業内容

1) 平成 27 年度決算概要

(千円)

	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
指定管理委託料	7,930	6,544	5,989	
指定管理委託料 (警備保障分)				※208
人件費補助金				※9,627

※平成 27 年度より指定管理委託料は警備保障分のみとなり人件費については「南魚沼職業能力開発運営協会人件費補助金」となった。

2) 平成 27 年度人件費

(千円)

人件費 (千円)	補助率	補助金 (千円)	備考
9,150	2/3	6,100	2 名
3,527	100%	3,527	事務局長分
12,677		9,627	

(2) 監査委員の所感

平均就業者数が増加しているのに対して、正規の職員・従業員数は 7 年連続減少しているという求人側と求職側のニーズが合わないアンマッチ。建設、製造業の若者労働者の不足。事業所の技術指導者不足。等々、中小企業の雇用環境は問題・課題が多く、求人側も求職側も厳しい状況が続いている。これらを踏まえながらニーズに即した運営計画を策定し、職業能力開発による人材育成に努めていた。育児中であるが就業を望んでいて、就業に必要な技術や知識を学びたい方への託児所サービスは、平成 27 年度実績では 6 名の利用があり好評とのこと、就業への大きな手助けとなると感じた。また、支援学校と密接な連携により生徒の就労に貢献するなど、個々のニーズに合った運営内容は、求職者に対して就業へと導く心強いフォローアップになるのではないだろうか。

今後も人材育成に努め、雇用の安定、地域産業へ貢献することを望むものである。

○塩沢商工会

1 補助金の交付状況 (平成 27 年度)

- (1) 塩沢商工会運営費補助金 (商工業振興事業補助金) 3,656,000 円
- (2) 牧之通りアジア都市景観賞 P R 推進事業補助金 (商工業振興事業補助金) 200,000 円
- (3) 自主的出店者支援事業補助金 150,000 円

2 団体の概要 (平成 28 年 3 月 31 日現在)

- 会員 : 581 (組織率 52.58%)
- 役員 : 会長外 28 名
- 総代 : 100 名

組織：4支部、4部、5委員会、事務局（職員6名）（平成28.4.1現在）

3 監査の結果

（1）平成27年度決算額

（単位：千円）

収 入		支 出	
県補助金	30,709	経改事業指導職員設置費	32,761
市補助金	4,006	経改指導事業費	2,438
会費・手数料	32,014	その他	30,801
その他	1,910	次期繰越額	2,639
合計	68,639	合計	68,639

（2）監査委員の所感

地区商工業者1,105事業者のうち商工会員は581事業者で、組織率は52.58%となっている。前回監査（H24年度分）から地区商工業者数は3人の減、商工会員数は9人の減、組織率は0.6%の減となっている。平成27年度には新規加入者が17人いるが、脱退者も17人と会員数の増加には至らなかった。組織率向上に努めてはいるものの、個人経営者の高齢化、後継者不足、地域の景気の低迷等で、年々会員数は減少している。

経営改善普及事業である経営指導員による相談事業の内容は主に経営、税務、労働の相談であるが、相談事業の充実を図り、会員は会員としての特権事業を有効に利用して安定経営につなげていただきたいものである。

今後も情報の発信力と政策提言力を磨き、全国にも誇れる塩沢地域「商・工・農」の地域財産を守りながら、地域活性化に結び付ける架け橋役となることを期待するものである。